

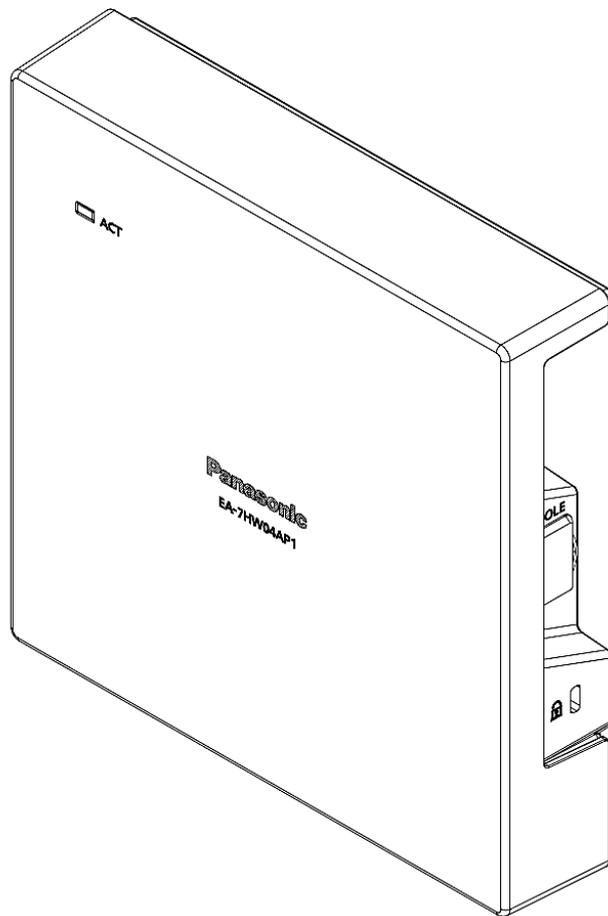
Panasonic®

取扱説明書（工事編）

業務用 Wi-Fi 基地局

Wireless LAN Access Point

品番 EA-7HW04AP1



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書（工事編）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4～7 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

取扱説明書（工事編）（以下、本書という）は、業務用 Wi-Fi 基地局（以下、本装置という）を利用される方が、正しく、安全に設置を行えることを目的として記載しています。

本装置を取り扱う前に本書をよく読み、記載されている指示や注意を十分に理解してください。

■取扱説明書は以下の3種類です。

- ・「取扱説明書（基本編）」 …安全上のご注意などを記載しています。
- ・「取扱説明書（工事編）」 …設置方法、接続方法などを記載しています。
- ・「取扱説明書（設定編）」 …操作や設定方法などを記載しています。

取扱説明書（基本編）および取扱説明書（設定編）は、

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/wifi>

よりダウンロードをお願いします。

■商標について

- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・イーサネット / Ethernet は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- ・その他、本文中に記載の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

■お知らせ

- ・本書の内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。
- ・「アクセスポイント」「無線ユニット」「EA-7HW04AP1」は、業務用 Wi-Fi 基地局を示します。

■免責事項について

- ・本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電時の外部要因によって通話、録音等の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・地震、雷、風水害などの天災、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失および誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本装置は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外になります。

もくじ

はじめに	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
設置・使用上のお願い	8
事前にご用意いただくもの	12
機器・付属品の確認	13
外観・寸法	14
各部の名称とはたらき	16
給電方式	17
インターフェース仕様	18
設置場所の決定	20
設置方法	21
各部の接続方法	26
初期化	28
セルフテストによるアラーム表示	29
オプション品（別売品）	30
動作確認品について（別売品）	31
こんなときには	32
仕様	33
保証とアフターサービス	34

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

 分解禁止	<p>■分解・改造をしない 火災や感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない アクセスポイントからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。</p> <p>■医療機器の近くには設置しない アクセスポイントからの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。</p> <p>■塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない 取付部が劣化して、落下など事故の原因になります。</p> <p>■荷重に耐えられない場所や不安定な場所には設置しない 落下など事故の原因になります。</p> <p>■使用を終了した装置は放置しない そのまま放置しておくと、落下など事故の原因になります。</p>

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

 禁止	<p>■電源を入れたまま配線工事をしない 感電の原因になります。</p>
	<p>■設置は施工業者以外が行わない 指定の固定方法で正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になることがあります。</p>
	<p>■ブレーカや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外の電圧での使用はしない 定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>
	<p>■電源コード・プラグ・AC アダプター本体を破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など） 痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 ●コードやプラグや AC アダプターの修理は、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。</p>
	<p>■本装置・AC アダプター本体を水につけたり、水をかけたり、ぬらしたりしない ショートにより、火災や感電の原因になります。</p>
	<p>■指定の AC アダプター・電源コード以外は使用しない 火災や感電の原因になります。</p>
	<p>■電源コードは他の製品に使用しない 火災や感電の原因になります。</p>
	<p>■卓上設置時、子供や幼児が手の届く場所に置かない 落下によるけが、やけど、カップの誤飲の原因になります。</p>
	<p>■防水キャップは乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込むと、けがの原因になります。 ●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
 必ず守る	<p>■心臓ペースメーカーの装着部位から 15 cm 以上離す 電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。</p>
	<p>■煙が出たり、異常発熱したり、異臭・異音がした場合や落下・破損した場合は、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、本装置の使用を中止する そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。 ●すぐに使用を中止し、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。</p>

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

 必ず守る	<p>■付属の取り付け金具を使用する 落下によるけがや事故の原因になります。</p>
	<p>■ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける 落下によるけがの原因になります。</p>
	<p>■モルタル壁などへの取り付け時、取付金具、ねじ等をメタルラス、ワイヤラスまたは金属板と接触しないように設置する 装置の絶縁が劣化した場合、メタルラス等に漏電し、火災の原因になります。</p>
	<p>■長時間使用しないときや、お手入れ、保守をするときは必ず電源プラグを抜いて、電源を OFF する 漏電や感電の原因になることがあります。</p>
	<p>■電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ●痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因になります。</p>
 接触禁止	<p>■雷が発生したときは、本装置・接続したケーブル類に触らない 感電の原因になります。</p>

注意

 禁止	<p>■工事中に本装置を落下させない けがの原因になることがあります。</p>
	<p>■高温になる場所に設置しない 装置内部の温度が上がり、火災や感電の原因になることがあります。</p>
	<p>■金属のエッジを手でこすらない 強くこすると、けがの原因になります。</p>

安全上のご注意 必ずお守りください

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">■本装置にぶら下がらない けがの原因になります。
 高温注意	<ul style="list-style-type: none">■動作中に本装置の背面に触れない やけどの原因になります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">■設置をするときは指定の固定方法で取り付ける 正しく設置しないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。<ul style="list-style-type: none">●設置方法については、必ず本書および取扱説明書（基本編）をお読みください。
	<ul style="list-style-type: none">■コンセントへの抜き差しは電源プラグを持って行う 電源コードを引っ張ると、コードが破損し、感電、ショートや火災の原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■IEEE802.3at 対応 PoE 給電装置を接続する場合、エンハンスドカテゴリ 5 以上の Ethernet ケーブルを使用する 上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になります。

設置・使用上のお願い

本装置を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

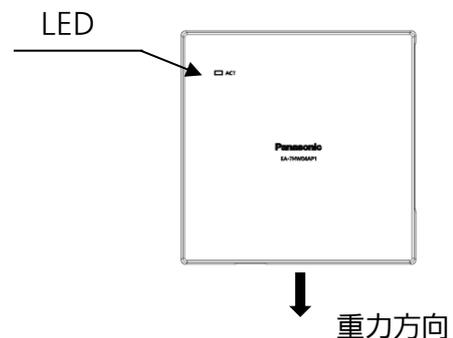
■設置工事のお願い

- ・本装置は、屋内装置です。屋外に設置しないようにしてください。

■設置場所・使用上のお願い

- ・通常使用状態で人体から 20 cm 以上離れた場所に設置してください。
- ・本装置は付属のスタンドもしくは取付金具を用い、指定の設置方法で使用ください。
- ・天井設置時、装置の周囲温度が 40 °C を超えないようにしてください。

- ・本装置は壁面設置・スタンド設置時は、防滴タイプ（JIS C 0920 保護等級 2 IPX2）です。散水、飛まつ、噴流、浸水は避けるよう施工願います。また、水滴落下の可能性のある場所に設置する場合は、すき間からの浸水を防ぐために必ず製品を縦方向にして LED が左側になるよう取り付けしてください。（天井設置などの水平方向や上記以外の縦方向での取り付けをしないでください）



- ・設置工事業者以外は取付工事を行わないでください。正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。
- ・卓上設置時、子供や幼児が手の届く場所に置かないでください。落下によるけが、やけど、キャップの誤飲の原因になります。
- ・暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。本装置の表面や部品が変形、劣化し、故障の原因になります。
- ・火気を近づけないでください。本装置の表面や部品が変形、劣化し、故障の原因になります。
- ・硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、その他有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください。
- ・電磁波発生源や磁気を帯びたもののある場所に置かないでください。（高周波マシン・電気溶接機・磁石など）雑音の発生や故障の原因になります。
- ・機器に強い衝撃や振動を与えないでください。落としたり、ぶついたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。
- ・高温・多湿の場所では使用しないでください。
- ・廃棄時は、産業廃棄物として適切に処理してください。
- ・使用しない場合は、そのまま放置せず、必ず撤去してください。

■お手入れについて

- ・お手入れは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・本装置の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を薄めた水に布を浸し、固く絞ってから軽くふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジン、ワックス、石油、石けん、みがき粉、熱湯、粉石けんは使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

設置・使用上のお願い

■電波に関する留意点について

第二世代小電力データ通信システムの無線局を屋外固定局として運用するにあたっては、当該無線局の所有者名または事業社名と連絡先を表示する必要があります。以下が表示内容です。

- 無線局の表示：2.4 GHz 帯小電力データ通信システムの無線局
- 所有者名または運用業者名
- 連絡先：電話番号または E メールアドレス、もしくはホームページアドレスなど
- その他、電波干渉回避に有用な情報など

表示方法としてはシール、銘板、印刷、手書きなどで、無線装置本体、あるいは収容ケースなどの、特別な操作を必要としないで確認できる場所に表示してください。

●本装置は、電波法に基づく無線設備（2.4 GHz 帯高度化小電力データ通信システムおよび 5 GHz 帯小電力データ通信システム）の技術基準への適合が証明されています。従って、本装置を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本装置は日本国内のみで使用できます。

●本装置は、技術基準の適合が証明されていますので、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本装置を分解／改造すること（周波数、アンテナの変更をしてはいけない）
- 本装置の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすこと

●5 GHz 帯（IEEE802.11a/n/ac/ax）は電波法により屋外で使用可能な周波数が制限されています。

・5 GHz 帯（IEEE802.11a/n/ac/ax）の対応チャンネルは、36ch～48ch（W52）、52ch～64ch（W53）、100ch～144ch（W56）です。

・W52(登録局との通信を除く)および W53 は屋内使用限定です。W56 は屋外でも使用可能です。屋外使用時には、W52 と W53 を選択しないように設定を行ってください。

※本装置は屋外装置ではありません。

・W53 および W56 に対応するため、電波制御機能 DFS、TPC が使用されています。

・2005 年 5 月省令改定以前のチャンネル（J52）を使用した無線 LAN 機器とは、チャンネルが一致しないため通信を行うことができません。

●2.4 GHz 帯（IEEE802.11b/g/n/ax）の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

・本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用チャンネルを変更して、電波干渉をしないようにしてください。

設置・使用上のお願い

- ・この機器を 2.4 GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1, CH6, CH11 のいずれかにすることを推奨します。
- ・その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社までご連絡ください。

使用周波数帯域 : 2.4 GHz
変調方式 : DS-SS 方式 / OFDM 方式
想定干渉距離 : 40 m 以下
周波数変更の可否 : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」
「特定小電力無線局」帯域を回避可能
本装置には、これを示す右記のマークが貼付されます。

2.4DS4 / OF4

■無線 LAN 製品使用時のセキュリティについて

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本装置間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや本装置は、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、併せてご使用になる環境に応じたその他対応（物理的なセキュリティによる盗難対策や VPN 機能の利用による盗聴防止、Firewall 設置による攻撃防止など）を行ったうえで、製品を使用することをお勧めします。

設置・使用上のお願い

また、HTTP/HTTPS、telnet/ssh、snmp など、本装置を設定および監視する際に使用するプロトコルに関しても、ご使用になる環境に応じて設定することをお勧めします（使用されないプロトコルは未使用にされることをお勧めします）。

事前にご用意いただくもの

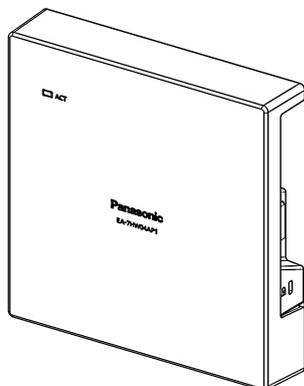
設置工事を行うには次のものがが必要です。本装置には同梱されていませんので別途ご用意ください。

- AC アダプター（別売品）もしくは IEEE802.3at 対応 PoE 給電装置
 <別売品> AC アダプター（品番：XC-WN93AJ-01 パナソニック コネクト製）
- Ethernet ケーブル（エンハンスドカテゴリ 5 以上）
- 束線バンド
- 取付金具固定用のねじ（呼び径 5 mm を 4 本 ※付属の取付金具使用時のみ）
 ※本ねじは、壁面の材質に合わせて工事業者様にて準備願います。
- 工具類（ドライバー）

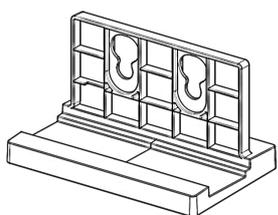
機器・付属品の確認

以下の機器・付属品が揃っているか確認します。

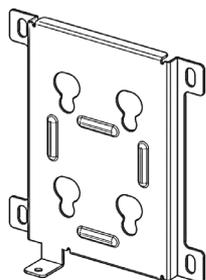
■本体



■スタンド



■取付金具



■M6ねじ ブッシュ付き（4本）



■M3ねじ（1本）



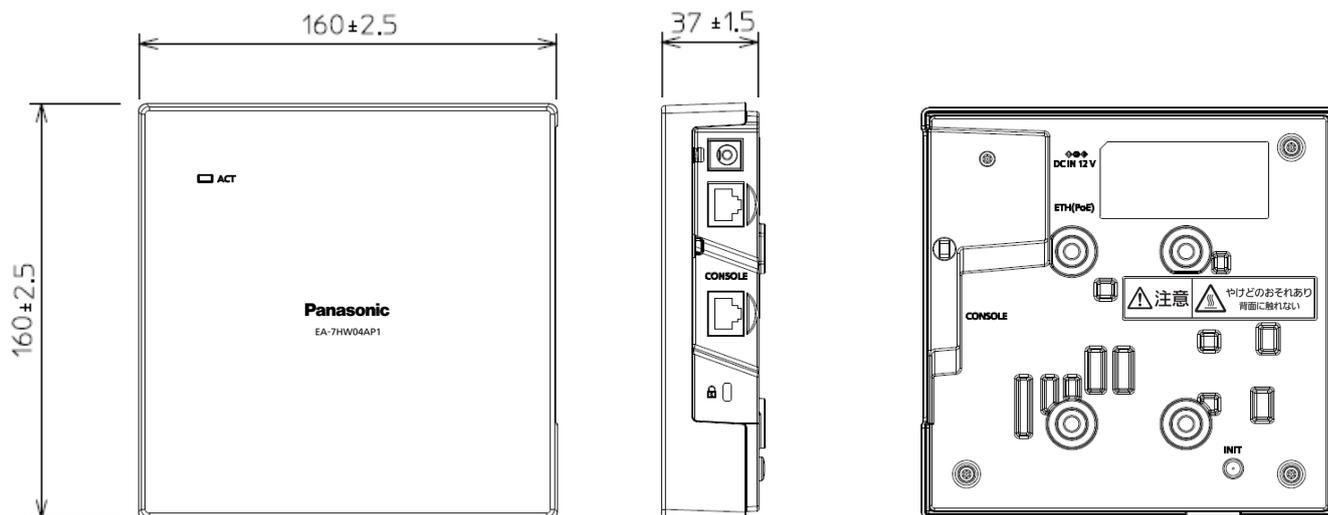
■取扱説明書（基本編）

外觀・寸法

■本体 外觀図

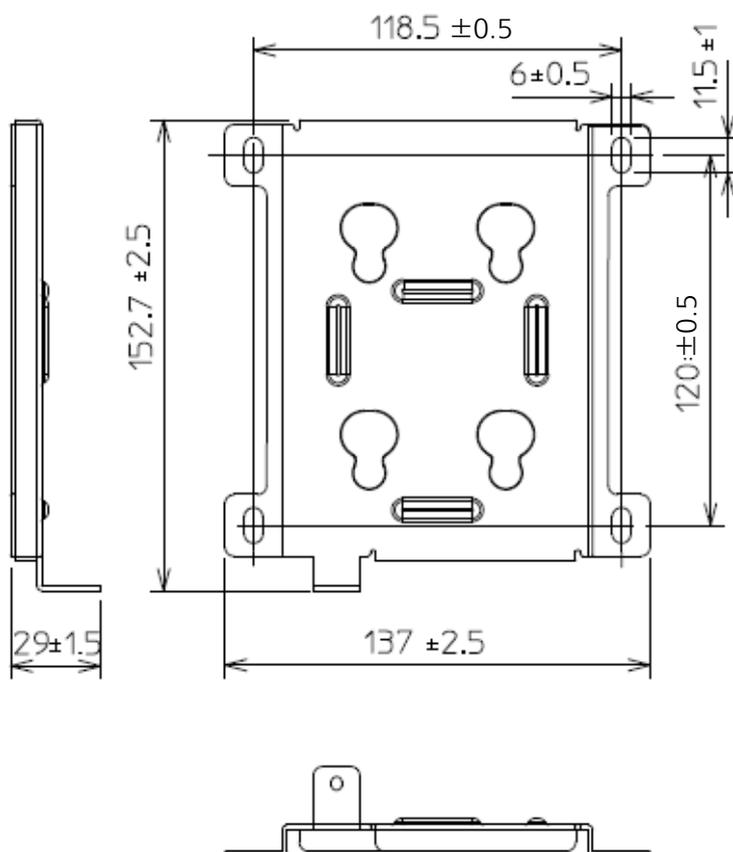
※本装置の仕様は予告なく変更することがあります。

単位：mm



■取付金具 外觀図

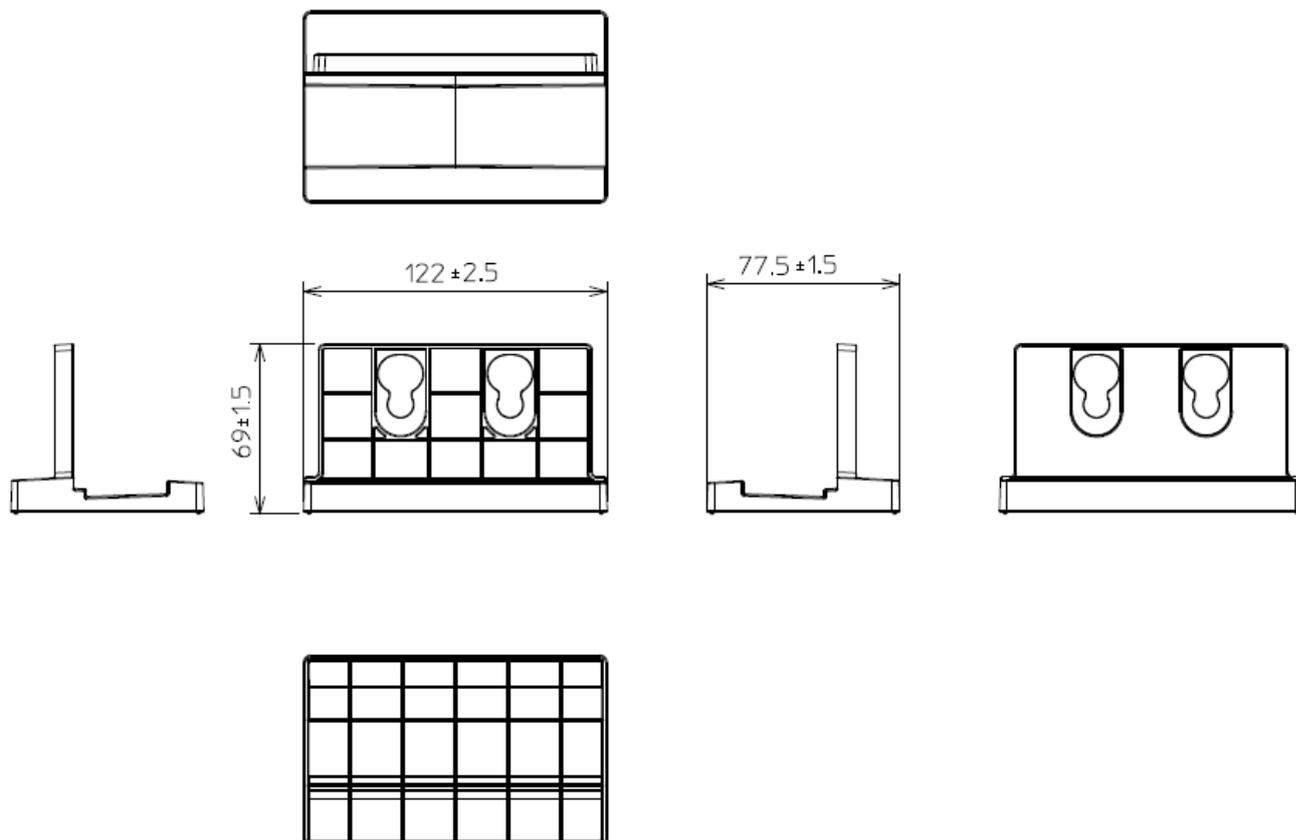
単位：mm



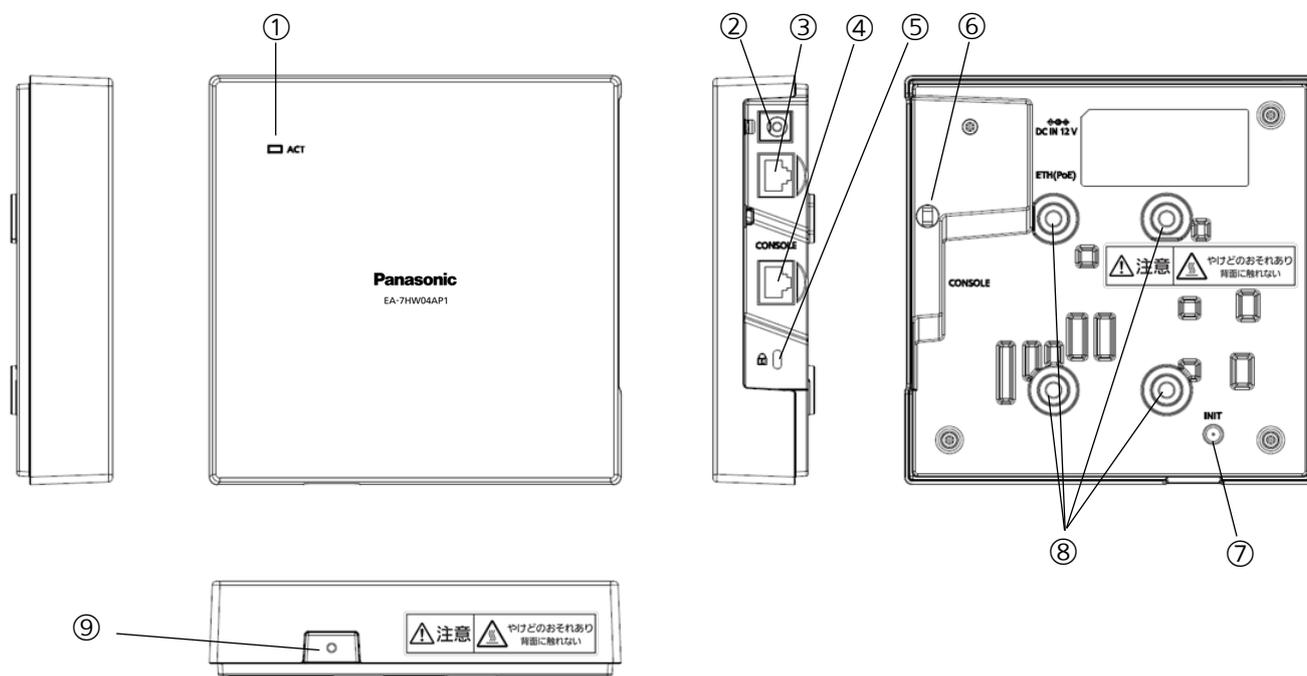
外観・寸法

■スタンド 外観図

単位：mm



各部の名称とはたらき



番号	名前	はたらき	
①	ACT LED	緑点灯	運用中
		緑点滅	起動処理中, 設定適用中
		赤点灯	障害検出
		赤点滅	INIT スイッチによる初期化実施中, ダウンロード中, バージョンアップ処理中
②	DC IN ジャック	指定の AC アダプターの DC プラグを接続します。	
③	ETH(PoE)コネクタ	Ethernet ケーブルを接続します。	
④	CONSOLE コネクタ	パソコンなど保守用のコンソールを接続します。	
⑤	セキュリティーロック	本装置盗難防止用に使用します。	
⑥	ホルダー	束線バンドで AC アダプターの DC プラグの抜け防止に使用します。	
⑦	INIT スイッチ	構成データ、ログデータを初期化します。	
⑧	M6 ねじ取付穴	同梱の M6 ねじを取り付けます。	
⑨	M3 ねじ取付穴	同梱の M3 ねじを取り付けます。(取付金具使用時)	

給電方式

2種類の給電方式を選択できます。

■ACアダプターからの給電

別売のACアダプターをご使用ください。

■PoE 給電装置からの給電

IEEE802.3at の PoE 給電装置をご使用ください。

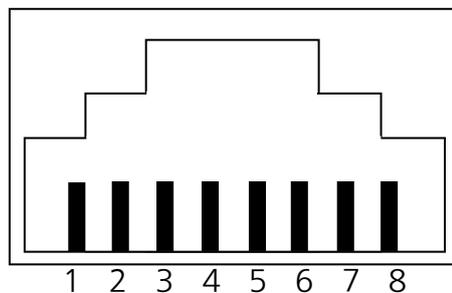
お願い

・接続については、「各部の接続方法」を参照ください。

インターフェース仕様

■Ethernet インターフェース仕様

<ETH (PoE) コネクタ>



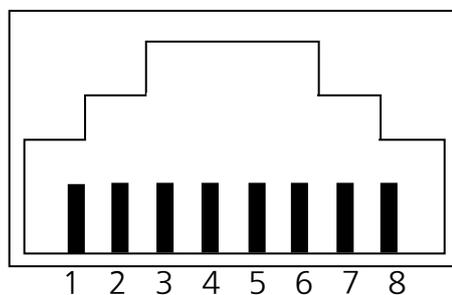
(本体側コネクタ)

ピン番号	10/100Base 本装置側 (MDI)	10/100Base 本装置側 (MDI-X)	1000Base-T 2.5GBASE-T 本装置側 (MDI)	1000Base-T 2.5GBASE-T 本装置側 (MDI- X)
1	Tx+	Rx+	BI_DA+	BI_DB+
2	Tx-	Rx-	BI_DA-	BI_DB-
3	Rx+	Tx+	BI_DB+	BI_DA+
4	未使用	未使用	BI_DC+	BI_DD+
5	未使用	未使用	BI_DC-	BI_DD-
6	Rx-	Tx-	BI_DB-	BI_DA-
7	未使用	未使用	BI_DD+	BI_DC+
8	未使用	未使用	BI_DD-	BI_DC-

インターフェース仕様

■コンソールインターフェース仕様

<CONSOLE コネクタ>



(本体側コネクタ)

ピン番号	本装置側 (DTE)
1	RTS
2	DTR
3	TxD
4	GND
5	GND
6	RxD
7	未使用
8	未使用

設置場所の決定

付属品の取付金具やスタンドを使用し、壁面・天井、机上への設置ができます。
「安全上のご注意」「設置・使用上のお願い」を考慮し、設置場所を決定します。

お願い

- 人体から 20 cm 以上離れた場所に設置してください。
- 机上で使用する際は、必ずスタンドを使用してください。
- 無線ユニットを保持するための十分な強度があり、平坦な面に設置します。
本体の質量は約 700 g です。
- 付属の取付金具で壁面・天井設置する場合は、装置本体上側から 30 mm 以上（取付金具上側から 40 mm 以上）のスペースが必要です。製品引っ掛けストロークを確保してください。
- 付属の取付金具で壁面・天井設置する場合は、振動等からの経年変化によるゆるみ、倒れが生じないよう、無線ユニットおよび取付金具を強固に設置してください。
- 無線ユニットの近傍に金属やコンクリートなどアンテナの性能に影響するものがないことを確認してください。
- 「安全上のご注意」「設置・使用上のお願い」をよくお読みのうえ、設置場所を決定してください。

設置方法

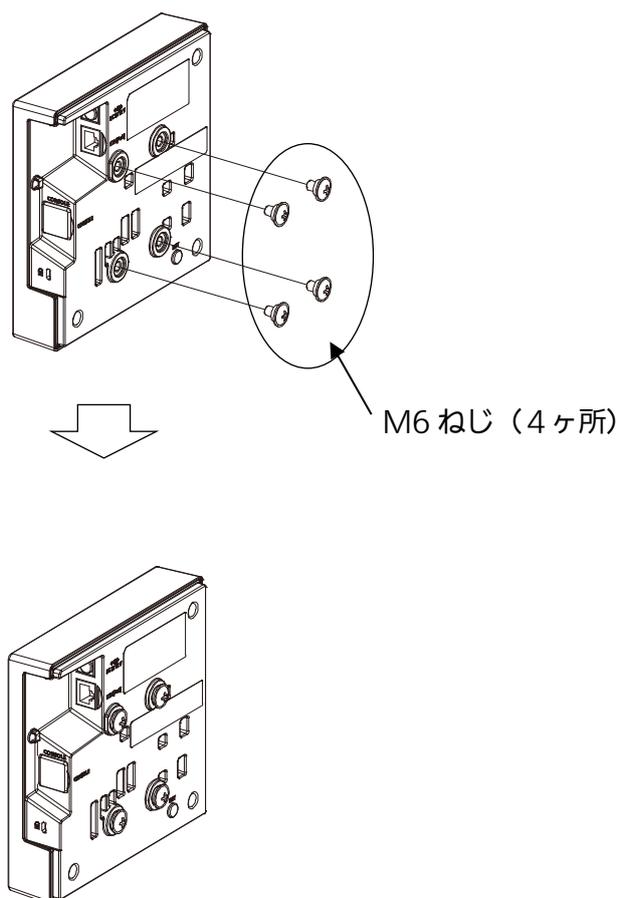
本装置および取付金具の寸法は「外観・寸法」を参照ください。

■壁面設置（屋内）

※天井の設置については、壁面設置と同様の手順で行います。

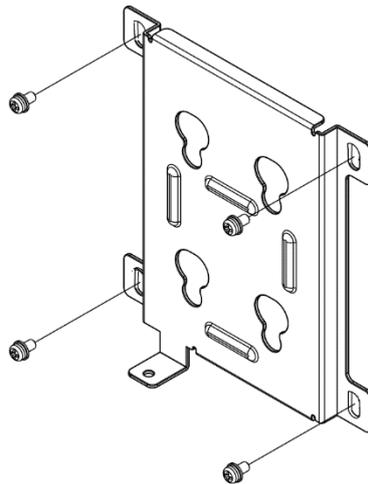
①本装置の背面に付属品の M6 ねじ 4 本を取り付けます。

(推奨締め付けトルク : $3.0 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $30.6 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 4.1 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })



設置方法

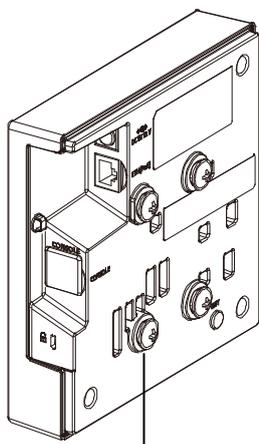
- ②設置場所が平滑なコンクリート、金属、木、モルタル等のしっかりとした面であることを確認します。
取付金具上部のねじを設置面に仮止めします。取付金具が平行になることを確認し、上下4本のねじをしっかりと締め付けます。



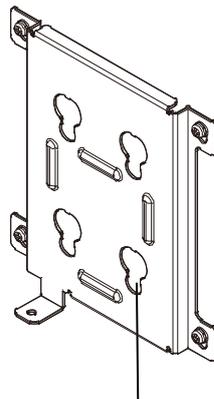
お願い

- 取付金具を設置面に固定するねじは、呼び径 5 mm のものを使用してください。
本ねじは、壁面の材質に合わせて工事業者様にて準備をお願いします。
取付場所のねじ引き抜き強度は、1本あたり 45 N {4.59 kgf} 以上が必要です。

- ③壁面に固定された取付金具に本体を固定します。
本体背面の M6 ねじ（4ヶ所）を取付金具の引っ掛け穴に引っ掛けます。



M6 ねじ（4ヶ所）

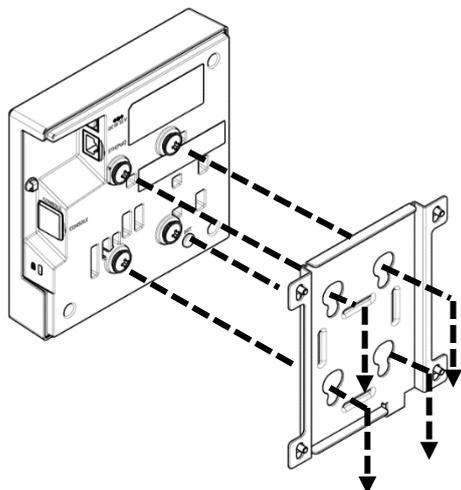


引っ掛け穴（4ヶ所）

設置方法

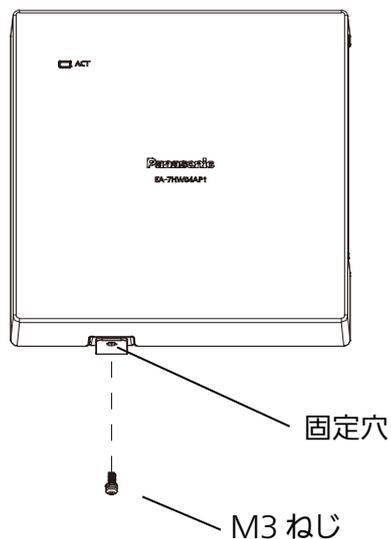
④取付金具正面の引っ掛け穴に本体背面の M6 ねじを差し込みます。

⑤本装置の左右側面を持ち、本装置を下にスライドさせます。



⑥固定穴に付属品の M3 ねじをしっかりと締め付けます。

(推奨締め付けトルク : $0.6 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $6.1 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 1.0 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })

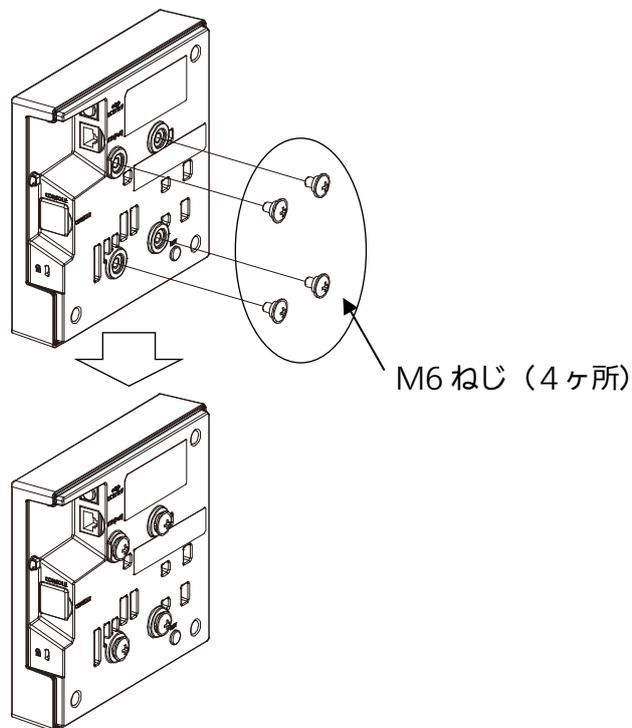


設置方法

■机上設置

①本装置の背面に付属品の M6 ねじ 4 本を取り付けます。

(推奨締め付けトルク : $3.0 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $30.6 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 4.1 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })

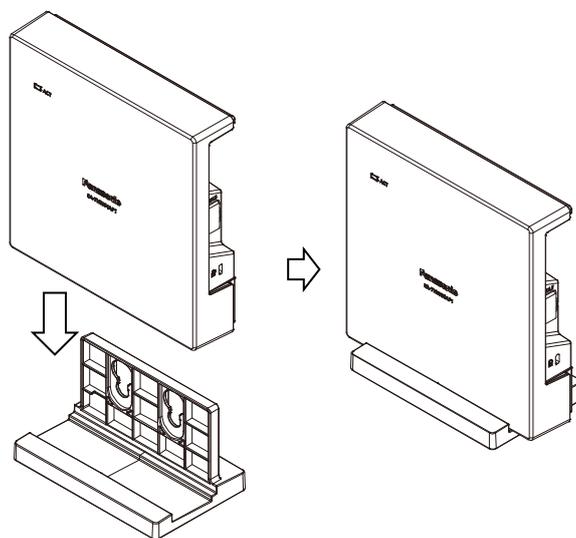


②本体のねじ (下部 2ヶ所) をスタンドの引っ掛け穴に合わせます。



設置方法

③本体を下側にスライドし、固定します。



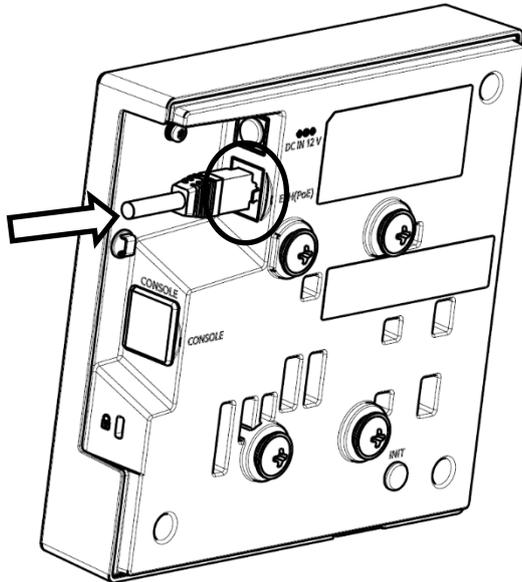
お願い

●机上で不安定な場合は、耐震マット等の滑り止めの使用をお勧めします。

各部の接続方法

■有線ネットワーク接続および PoE 給電装置からの給電

- ①Ethernet ケーブル（エンハンスドカテゴリ 5 以上推奨）を ETH(PoE)コネクタに接続します。
- ②「カチッ」と音になるまで RJ-45 プラグを差し込みます。



お願い

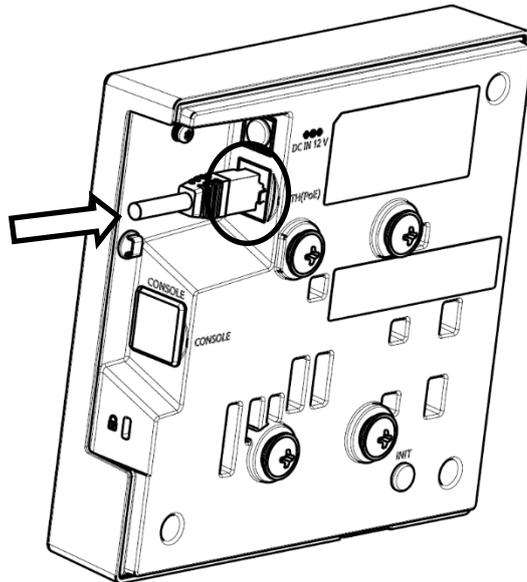
- PoE インジェクタを使用する場合、無線ユニットから上位ネットワーク機器までの配線長は合計 100 m 以下としてください。
- 2.5GBase-T に対応していない PoE インジェクタを使用する場合、本装置の Ethernet Capability の設定を 1000Base-T に設定してください。設定方法は取扱説明書（設定編）をご確認ください。設定しない場合、リンク状態が不安定となりリンクアップダウンを繰り返す、またはデータ損失が発生する場合があります。また、1000Base-T に設定した場合、手順によりリンク確立時にリンク断が検出されることがありますが故障ではありません。
- 接続したケーブルを引っ張るなど強い力を加えないでください。
- 誤って CONSOLE コネクタに接続しないようご注意ください。

各部の接続方法

■AC アダプターからの給電

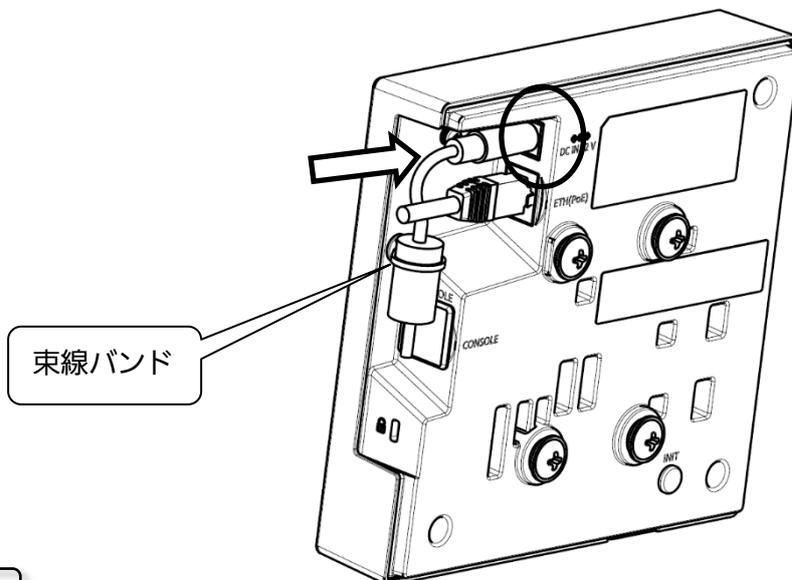
束線バンドを用意します。

- ①Ethernet ケーブル（エンハンスドカテゴリ 5 以上推奨）を ETH(PoE)コネクタに接続します。
- ②「カチッ」と音がるまで RJ-45 プラグを差し込みます。



- ③指定の AC アダプターの DC プラグを本体の外部インターフェース部にある DC IN ジャックにしっかりと接続します。

幅 3 mm 以下の束線バンドで DC ケーブルのフェライトコア部をホルダーに固定します。



お願い

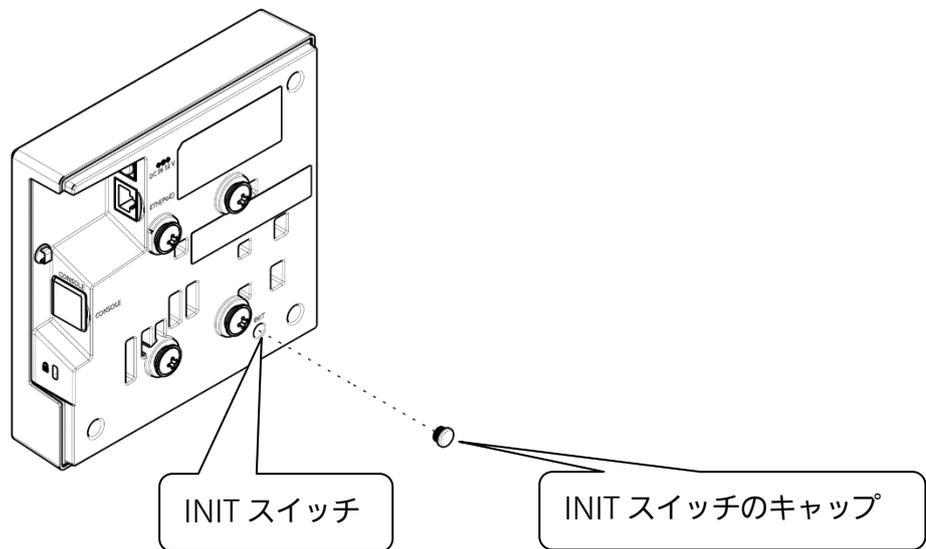
- 束線バンドで DC ケーブルのフェライトコア部を締めすぎないようにご注意ください。
- フェライトコアが Ethernet ケーブルと干渉しない位置でフェライトコアを固定してください。
- 接続したケーブルを引っ張るなど強い力を加えないでください。
- 誤って CONSOLE コネクタに接続しないようご注意ください。

初期化

初期化のコマンドを使わず、無線ユニットを直接初期化（構成データ、ログデータを工場出荷時の値）することができます。

- ①INIT スイッチのキャップを外し、竹串など先端の細いもので押下した状態で DC プラグを接続し、電源を投入してください。（投入後も INIT スイッチを押し続けてください）
※静電気を除去してから作業してください。
- ②ACT LED が赤点滅しましたら INIT スイッチを離してください。そして、INIT スイッチのキャップを本体に取り付けてください。（電源投入から約 40 秒かかります）
- ③ACT LED が緑点灯になりましたら初期化された状態で起動が完了します。
（電源投入から約 150 秒かかります）

インターフェース	初期設定	備考
Wi-Fi インターフェース (2.4 GHz)	無効	インターフェース有効設定後の初期値 1ch, HT40
Wi-Fi インターフェース (5 GHz)	無効	インターフェース有効設定後の初期値 36ch(W52), HT80
Ethernet (ETH)	—	初期設定固定 IP (192.168.0.3/24)



お願い

- INIT スイッチのキャップをなくさないように注意してください。

セルフテストによるアラーム表示

本装置は起動時に自動でセルフテストを行い、異常が検出されると本装置の LED により各アラームを表示します。セルフテストにて異常が出た場合は、電源を OFF して、本装置をお買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご連絡ください。

アラーム種別	FROM チェック異常	RAM チェック異常	製造番号異常	MAC アドレス異常
ACT LED	赤点灯	赤点灯	赤点滅	赤点滅

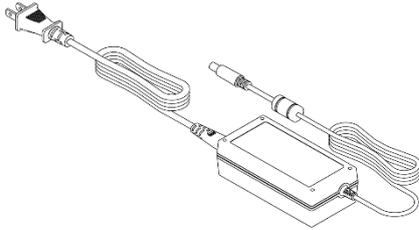
《留意点》

- LED のテストとして、起動時に LED が点灯します。
その後セルフテスト終了までは、LED は消灯したままになります。
正常終了時の LED 表示内容については、「各部の名称とはたらき」をご参照ください。

オプション品（別売品）

◆ ACアダプター

本装置をより便利にご利用いただくために、下記のオプション品を準備しております。
お買い求めについては、本装置をご購入になった販売窓口までご連絡ください。

品名 <品番>	外観図	員数
ACアダプター <XC-WN93AJ-01>		1

動作確認品について（別売品）

- ・本項で紹介する動作確認品の品質保証については、発売元が行います。
- ・ご使用になる環境に適応するかご確認をお願いします。
- ・生産、販売終了している場合があります。
- ・お問い合わせについては、各発売元のお客窓口をお願いします。

◆ PoE インジェクタ

PoE インジェクタ動作確認品について

品 名	製品品番	備 考
PoE インジェクタ（屋内用：30W品）	PD-9001-10GC/AC-JP	Microsemi 製 10GbE 対応
PoE インジェクタ（屋内用：30W品）	PD-9001GR/AT/AC-JP	Microsemi 製 1GbE 対応*1
PoE インジェクタ（屋内用：30W品）	HPI-XG30	HYTEC INTER 製 10GbE 対応

- ・（*1）2.5GbE での接続は保証されません。該当のインジェクタをご使用になる場合は、本装置の Ethernet Capability の設定を 1000Base-T に設定してください。

こんなときには

本装置に障害が発生した場合の対処方法を説明します。

点検を行い、対処方法で解決しない場合は、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。

症状	点検	対処方法	
ACT LED が点灯しない	DC プラグがはずれていませんか？	本体に DC プラグを接続してください。	
	AC アダプターと電源コードがはずれていませんか？	AC アダプターと電源コードを正しく接続してください。	
	PoE 給電装置が動作していますか？	PoE 給電装置の電源が入っていることおよび給電可能な状態になっていることを確認してください。	
通信ができない	Ethernet ケーブルがはずれていませんか？	Ethernet ケーブルを正しく接続してください。	
	Ethernet ケーブルが断線していませんか？	Ethernet ケーブルの通電を確認するか、ケーブルを変えて接続してください。	
	無線ユニットと端末の間に通信を阻害する障害物がありますか？	障害物を取り除くか、無線ユニットの設置場所を変えてください。	
	使用している PoE インジェクタの仕様に合わせて Ethernet Capability を設定しましたか？	2.5GBaset-T に対応していない PoE インジェクタを使用する場合、Ethernet Capability を 1000Baset-T に設定してください。	
Wi-Fi 端末から本装置を検索できない	SSID を隠蔽する設定になっていませんか？	取扱説明書（設定編）に従い、SSID の隠蔽を解除するか、あらかじめ Wi-Fi 端末に接続可能な設定をしてください。	
	無線ユニットに電源が供給されていますか？	電源が入っていることを確認してください。	
その他	コンソールからログインできない	<p>コンソールの通信ソフトの設定は正しいですか？</p> <p>ログイン名、パスワードは正しいですか？</p>	<p>取扱説明書（設定編）に従い、通信ソフトの設定を行ってください。</p> <p>正しいログイン名、パスワードにて再度ログインを行ってください。</p>
	本装置に設定が反映されない	設定を確認します。	取扱説明書（設定編）に従い、当該設定データ反映とリセットコマンドにより設定を反映させてください。
	リセットが発生する	IEEE802.3at の PoE 給電装置を使用していますか？	IEEE802.3af の PoE 給電装置を使用した場合、給電能力が不足しリセットが発生することがあります。

仕様

■本体

項目		仕様	
有線 インター フェース	Ethernet	10/100/1000/2.5GBASE-T 1ポート	
	CONSOLE	RS-232C	
無線 インター フェース	Wi-Fi 2.4 GHz	対応 チャンネル	IEEE802.11b/g/n/ax (1ch~13ch)
		通信速度	最大 573.5 Mbps
	Wi-Fi 5 GHz	対応 チャンネル	IEEE802.11a/n/ac/ax (W52 : 36ch~48ch、 W53 : 52ch~64ch、 W56 : 100ch~144ch) ※省令により、屋外での W52(登録局との通信を除く),W53 の利用は 禁止されています。
		通信速度	最大 1201 Mbps
電源	DC 給電時	DC 12 V (指定の AC アダプターを使用)	
	PoE 給電時	IEEE802.3at	
消費電力		18 W 以下	
動作環境		温度 : 0 °C ~ 50 °C (ただし天井設置時は 0 °C ~ 40 °C) 湿度 : 5 % RH ~ 95 % RH (結露なきこと)	
保護等級		IP42(壁面設置、スタンド設置時)、IP4X(天井設置時)	
外形寸法		W 160 mm × H 160 mm × D 37 mm (公差、突起物を除く)	
質量		約 700 g	

保証とアフターサービス よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—	
お買い上げ日		年	月	日

修理を依頼されるときは

「こんなときには」をご確認のあと、直らないときは、電源を落として、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- | | |
|---------|---------------|
| ● 製品名 | 業務用 Wi-Fi 基地局 |
| ● 品番 | EA-7HW04AP1 |
| ● 故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従って修理（交換）いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理（交換）させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・調整・点検などの費用
部品代	本体および付属品代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修部品の保有期間 5 年

当社は、本製品の修理（交換）用として本体および付属品を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

パナは ヨイワ

電話 フリー
ダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP 電話や光電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびパナソニックグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022

M1122-0
PYQX1139ZA/J1